

授業科目名 <英訳>	インド古典学(講読) Indological Studies (Seminars)			担当者氏名	人文科学研究所 教授 藤井 正人				
配当学年	2回生以上	単位数	2	開講期	後期	曜時限	月4	授業形態	講読
題目	サンスクリット初級演習(初期サンスクリット[ヴェーダ語])								
【授業の概要・目的】									
サンスクリット基礎文法の既習者を対象とする初級演習。比較的簡単なヴェーダ散文を読みながら、初期サンスクリット(ヴェーダ語)の文法と構文の基礎を習得するとともに、サンスクリット全般に共通する分析的な読解法を身につける。									
【授業計画と内容】									
サンスクリット基礎文法の知識である程度読むことのできる『シャタパタ・ブラーフマナ』を教材にして、ヴェーダ散文の手ほどきを行う。そのあと、代表的な初期ウパニシャッドである『プリハッド・アーラニヤカ・ウパニシャッド』の一節ないし数節を精読する。教科書とともに、アクセントを伴った校訂本のプリント(授業時に配布)を用いて、語句・構文・アクセントなど、テキストのすべての要素を分析して読解する方法を学ぶ。辞書については、初めのうちは教科書の語彙集を用いるが、徐々に本格的な辞書や語源辞典を使いこなすことを目指す。									
【履修要件】									
サンスクリット文法既習者。									
【成績評価の方法・基準】									
平常点(50%)と学期末筆記試験(50%)により評価する。									
【教科書】									
Lanman, C.R. 『A Sanskrit Reader』(Motilal Banarsidass) ISBN:978-81-208-1363-2(インド学研究室にて購入できる。)									
【参考書等】									
(参考書) 授業中に紹介する									
(その他(授業外学習の指示・オフィスアワー等))									
毎回の予習・復習が必須である。									
オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。									